

登録コード	ASE03691	開講年度	2026					
授業科目	特別研究					担当教員	河村 篤	
英文授業名	Special Research					副担当		
単位数	10	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	修士2年
講義室				授業形態	演習	備考		
信大コンピテンシー	非該当							
授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					⇔	【授業の達成目標】	
	2026ASカリ, 2025ASカリ, 2024ASカリ, 2023ASカリ							
	【専攻】生命科学, 食品科学, 食料生産および環境の保全と修復などの分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。					⇔	生命科学分野における幅広い体系的な基礎学力と実践的技術力とともに高い研究開発能力を修得している。	
	【専攻】農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。					⇔	農学分野で必要とされる情報収集・分析能力, 批判的思考力を有し, 農学分野での研究成果を発信できるグローバルな情報発信能力を有する。	
授業の概要	修士論文学位論文作成のために行う実験, 文献検索, 中間発表, 修士論文発表会での発表, 学会発表などが授業内容となる。研究テーマとしては生物活性天然物の単離・構造決定、全合成を行う。							
Contents:	To complete research thesis, experimental research, presentations of master thesis and literature search are course contents. Isolation, structure determination, and total synthesis of bioactive natural products is research thesis.							
授業計画	・修士学位論文作成のための研究課題の作成 ・研究課題に関連した文献検索 ・実験方法の習得 ・専攻が主催する中間発表会や修士論文発表会の準備と発表 ・学会発表のための準備と発表 ・修士論文の作成							
成績評価の方法	研究中間発表、修論発表会、修士論文を総合的に判断する。学会発表も評価の対象とする。							
成績評価の基準	論文発表までに至る研究成果をあげる：S、学会発表を行うまでに至る研究成果：A、学会発表には至らないが新しい知見を得た：B、継続的に実験を行い、一定の成果をあげた：C、実験量が不足し、一定の成果もあげられなかった：D							
事前事後学習の内容	日頃から研究の内容をよく考えて、実験の計画を十分に練ること。							
履修上の注意	・実験を行う前に「化学・高圧ガス」の安全講習会を必ず受講すること。 ・実験なくしては修士論文は書けません。知力・体力・精神力を備えて研究に打ち込んでください。							
質問,相談への対応	随時対応する							
学生へのメッセージ	少なくとも努力はする必要があります。							
【教科書】	必要に応じて紹介する							
【参考書】	必要に応じて紹介する							